



日乗連ニュース

ALPA Japan NEWS

www.alpajapan.org

Date 2008.3.7 No. 31 - 30

発行：日本乗員組合連絡会議・ALPA Japan
幹事会

〒144-0043

東京都大田区羽田5-11-4

フェニックスビル

TEL.03-5705-2770

FAX.03-5705-3274

E-mail:office30@alpajapan.org

SKY MARK は不当労働行為の百貨店！！

乗員組合結成以降

組合員機長への脱退工作や突然の機長昇格訓練の中断にひき続き

今回は

副操縦士を派遣会社に転籍させ派遣乗員として再雇用！？

SKY MARK 乗員組合の現況報告

2007年4月25日の乗員組合結成以来SKY MARK社経営は、組合に対し団交拒否を繰り返しました。再三の要請によりようやく開催された団体交渉（経営が付けた名前：スカイマークオープンミーティング）では、社長自ら全国の社員に呼びかけて100人を超える傍聴人を旅費や食費を会社負担で集め、更に乗員組合執行委員を取り囲むような椅子の配置や、社長が傍聴人に発言を促すなど労使交渉の常識では到底考えられない対応をしました。

またその後、組合からの乗員不足改善や過酷な勤務改善の訴えを逆にとり、副操縦士の勤務条件を改善するためには副操縦士の人数を減らすことはできないとの理由で、突然機長昇格訓練を中断し未だに再開していません。

一方で経営は賃金等の労働条件の一方的な改悪提示、組合員機長への脱退強要、ビラ配り等の教宣活動を制限するなど様々な不当労働行為で組合に圧力をかけています。

団体交渉開催に向けた労働委員会の斡旋に合意

そうした中でまともな団交開催に向けて労働委員会に斡旋を要請し協議を重ねた結果、ようやく団交開催にむけて経営と合意が成立しました。今後早急に開催させるべく要求の整理に取り組んでいます。また経営と具体的な実施要領について事務的な話し合いをしようと連絡を取っていますが、事務方が全く対応しないという問題も発生しています。

発令後の副操縦士の身分は？

副操縦士転籍・派遣問題について大きな問題が新たに発生しています。

経営は訓練生に対し副操縦士発令後の転籍、派遣形態への契約変更をなかば強制的に同意させ、副操縦士昇格後に派遣会社に転籍させる予定でした。しかしながら未だ派遣先との調整が終わっていないとの理由で、副操縦士昇格後も雇用契約が曖昧なまま副操縦士業務を行なわせています。

この問題はSKY MARK社のみならず日本の運航乗務員全体に関わる問題として、日乗連として今後取り組みを強化します。

